

災害に備えて

災害はいつ起きるかわかりません。大切な家族を守るため、日ごろから災害への備えを心がけましょう。

連絡手段を決めておきましょう

災害は、家族が全員そろっているときに起こるとは限りません。災害時にお子さんを保育所・幼稚園・学校などから引き取る方法や、連絡方法（連絡網・メール）を確認しましょう。

災害用伝言ダイヤル「171」

災害時には、電話が通じにくくなることがあるため、安否確認などの手段として災害用伝言ダイヤルの利用が有効です。

171 をダイヤルした後
ガイダンスに従ってください。



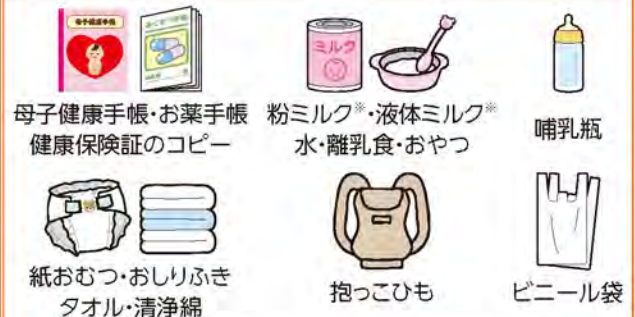
避難場所・避難所を確認しておきましょう

災害時の避難場所・避難所とそこまでの経路について事前の確認が必要です。避難場所・避難所は、市ホームページや、市が作成している「防災マップ」で確認できます（「防災マップ」は、市役所や駅前・銭函・塩谷各サービスセンター、いなきたコミュニティセンター、銭函市民センターで配布しているほか、市ホームページからも確認できます）。



お子さんのための備蓄品を用意しておきましょう

市で備蓄できるものの種類や数量には限りがあるため、各家庭でも必要なものをそろえましょう。家庭備蓄品は、市ホームページから確認できます。（右の二次元コードを参照）さらに、小さなお子さんのための備蓄品として、下に記載したものとがあると安心です。



※ 普段はお子さんに母乳を与えているお母さんでも、環境の変化によって母乳が出にくくなることもあります。また、粉ミルクの調乳に必要なお湯を確保できない場合もあるため、液体ミルクの利用が有効です。

ローリングストックを知っていますか？

ミルクや離乳食を備蓄していても、賞味期限が切れていたら使うことができません。普段から消費（ローリング）しながら備蓄（ストック）する方法（ローリングストック）がおすすめです。最低3日分の備蓄を心がけましょう。



正確な情報の入手手段を確保しましょう

災害時には正確でない情報、いわゆる「デマ情報」が広がることがあります。誤った情報に惑わされないように、テレビ（各局）、ラジオ（FMおたる76.3MHz）、小樽市防災行政無線、登録制メール、緊急速報メール、Yahoo!防災速報や市ホームページ、小樽市公式SNSなどを確認する手段を確保しましょう。

災害に備えて